

表題	ゴマ粕利用によるブロイラーの腹腔内脂肪低減	機関	農業研究センター 畜産研究所
概要	概要： <u>ゴマ粕</u> を市販ブロイラー飼料に添加して給与すると、 <u>腹腔内脂肪の蓄積量が減少し飼料要求率が向上する。</u>		

研究のねらい

ブロイラーは、短期間でしかも経済的に肥育し出荷できるように急速な改良が進められてきた。これに伴いブロイラー用の飼料はエネルギー含量が高められ、一方で腹腔内脂肪の過剰蓄積が問題となっており、脂肪の過剰蓄積は飼料要求率を悪化させる要因となっている。

そこで、ゴマ油精製の副産物であるゴマ粕を市販ブロイラー飼料に添加し、体脂肪の蓄積の制御を行う。

研究の成果

1. 市販ブロイラー飼料にゴマ粕を添加して給与すると、腹腔内脂肪は市販飼料を給与した対照区と比較して約30%低減する。
2. ゴマ粕の添加による育成率、増体重、飼料消費量への明らかな影響はないが、飼料要求率が改善される傾向がある。
3. 腹腔内脂肪割合を除き、ゴマ粕の添加によると体成績への影響はない。
4. ゴマ粕5%添加区で、腹腔内脂肪低減効果、飼料要求率とも最も優れ、添加割合を10%に増やしてもこれ以上の改善効果は期待できない。
5. 腹腔内脂肪の低減効果、飼料要求率、育成率、増体重ともゴマ粕5%添加区が最も良好であることから、ゴマ粕の添加量は5%程度が適量である。

普及上の留意点

5%添加では、コストがやや高くなるので、高品質鶏肉生産飼料として利用する。

表 1 発育成績

区	育成率	3週齢体重	6週齢体重	8週齢体重	飼料消費量	飼料要求率
1 対 照 区	97.3%	817 g	2486 g	3417 g	5784 g	2.22
2 ゴマ粕5%区	98.3	810	2500	3450	5754	2.18
3 ゴマ絞10%区	97.5	810	2501	3422	5776	2.21

表 2 と体成績 (8週齢)

単位：% (生体重に対する比)

区	腿肉	胸肉	ささみ	正肉	手羽	可食内臓	可食部計	脂肪割合	脂肪量(g)
1	21.4	17.1	3.57	42.1	8.50	3.18	53.8	3.15	120 g
	20.3	16.1	3.89	40.3	7.77	3.35	51.4	4.16	127
	平均	20.9	16.6	3.73	41.2	8.13	3.27	52.6	3.66 ^B 123 ^B
2	19.9	16.2	3.48	39.6	8.58	3.46	51.6	2.36	89
	19.4	17.3	3.92	40.6	8.48	3.37	52.5	3.25	101
	平均	19.6	16.8	3.70	40.1	8.53	3.42	52.1	2.80 ^A 95 ^A
3	20.7	16.7	3.35	40.8	8.42	3.43	52.6	2.30	86
	19.2	16.2	4.23	39.6	8.34	3.34	51.3	3.76	118
	平均	19.9	16.5	3.79	40.2	8.38	3.38	52.0	3.03 ^A 102 ^A

A, B・・・異符号間に有意差あり P < 0.01